

市長訓示

- 状況が変わっていく中、被災者支援のための相談窓口の設置や、受入れ状況に応じた災害ごみの対応など、きめ細かく対応をいただいていることに感謝申し上げます。
- 先週末、太田郷ひびき保育園を視察してきましたが、施設が完全バリアフリーになっており、園庭のレベルと教室の床のレベルが同じ造りになっていました。そのため、今回の災害で教室が浸水被害にあったのですが、その復旧工事を浸水した部分のみ実施するということで、浸水した部分とそうでない部分の床との間に、どうしても段差ができてきました。
- 園には障がいをお持ちのお子さんもいらっしゃり、先生や保護者の方も心配されていることから、今回の復旧工事で段差が生まれないよう、災害復旧とは別に、必要に応じて床の全面張替えを行うよう指示したところです。
- 災害復旧ということで原形復旧ばかり進めていくと、今回のようにちぐはぐなことも起こり得ると思います。私が以前から取り組んでいるように、皆さんにもぜひ、現場を見て判断いただきたいと思います。
- 今回素晴らしいのは、園の先生方が声を上げられたことです。「このまま工事が進むと子供たちにとって安全なのか」という声を、現場から直接上げていただいたのは、非常に大事なことだと思います。
- 幹部の皆さんにも、このように現場や担当職員から声が上がる、そういった空気づくり、職場環境づくりをやっていただきたいと思います。そのことが、結果的に市民の皆さんにも信頼感を持ってもらえることにつながっていくはずです。
- 「今までこういう風にやっていたので変えられません」ではなく、疑問に思ったことはすぐに声として上がるような、そういう八代市役所を皆さんで作っていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。